

日本学生科学賞 地方審査

受賞式 in 読売新聞西部本社1F に
よみうりプラザ

行ってきましたああ！！

11月10日(土)によみうりプラザで行われた『日本学生科学賞』
の受賞式に本田先輩、川口・福島の3人で行ってきました。

『最優秀賞』の受賞ということで、賞状と旨をいただきました！！

写真撮影は、ちやんとセンター(という前回の列?)で行ってきました。

このことは、11月11日(日)の新聞に掲載されました。

理
科
部
っ
し
ん。

No. 50

担当者

福島

そして

10月29日(月)に生物地学教室で受けた取材の内容も11月9日(金)の
読売新聞に載りました。前回、受賞した直後に掲載された時は、学校名と
石井宛名のみだったのですが、今回は、天文班全員の写真も載りました。

みなさんステキなエガオですね...！ 溢る

掲載された新聞は
裏面にのせています！

残念ながら、
中央予備審査で落選して
しまいました... (´ω`) 1/4(水)通知

水島先生

日本学生科学賞.....よく
わかりませんねー。県の
基準と中央の基準が違う
ようです。団体での努力
より個人の‘ヒラメキ’が
評価されているのかなー。
やっぱりJSEC...か。

吉田先生

ゼンリンさんの地図もあつた
のに... なせなんでしょうね？
中央予備審査用に、傾向と
対策の分析をしろければ
ならぬだろうです。まあ、
福岡県最優秀と素直
に喜びましょう。

内田先生

残念ながら、中央
審査には進むことが
できませんでしたか？
県では‘最優秀賞’です。
また1つ夜間の研究に
筋がつきましたね。

内田

部長 S2-C 本田

残念ながら、中央予備
審査に落ちちゃいました
ね...。でも、気持ちよく
リ換えて、1/4にある県
大会に向けてがんばり
ましょー！！

掲載された新聞がこちらです！

輝く研究 知の結晶

日本学生科学賞 県代表の声

第56回日本学生科学賞の県代表作品として中学校、高校の各都府で3点ずつが、11、12月に行われる中央審査に送られた。研究内容や生徒たちの喜びの声を紹介する。

東筑紫学園高理科部

北九州1/5万等光度曲線地図の完成

北九州地域の100km²が所で夜空の明るさを調べ、10段階に色分けした地図にまとめた。2002年に先輩たちが始めた研究を受け継ぎ、10年をかけた成果だ。きっかけは、当時の理科部員たちが、平尾台(北九州市小倉南区)でキャンプをした際に「街中とここでは、なぜ星の見え方が違うのだろう」という疑問を抱いたことだった。

測定機器を自作するなどして、北九州市や中間市などで調査。条件をそろえるため、観測は新月の夜に限定した。データは補正式に当てはめ、午後9時時点に統一した。また、同じ地点でも日によ

夜空の明るさ調査10年

て明るさに違いが出ることに着目し、黄砂や光化学オキシダントなどの汚染物質の量と明るさを比較。空気中の汚染物質が多いほど、夜空が明るくなることも突き止めた。



等光度曲線地図を前に、笑顔の部員たち

研究班リーダーの2年、八杉美晴さん(17)は「10年間の積み重ねが評価されてうれしい。環境についても関心を持つことができた」と喜んでいる。

↑ 八杉先輩のインタビュー

東筑紫学園高理科部などに賞状

日本学生科学賞 県表彰式



最優秀賞を受賞した各校の生徒たち

らい光栄。将来はバイオテクノロジーの研究者になりたいので、理科を一層頑張ります」と喜びを新たにしていた。ほかに最優秀賞を受賞した個人・団体は次の通り。修猷館高生物研究部▽筑高生物部▽北九州市立ヶ江中科学部▽福岡教育付小倉中3年、真玉絵里さん▽福岡市立巻岐中、原田一生さん

第56回日本学生科学賞(読売新聞社が主催)の県表彰式が10日、福岡市中央区の読売新聞西部本社で行われた。中央審査に送られた。県審査には、中学13校から101点、高校15校から19点の応募があった。中学、高校の各3点が最優秀賞を獲得し、中央審査に送られた。このほか、優秀賞(中学、高校各6点)、努力賞(中学15点、高校7点)も選ばれた。表彰式では、永尾忠生・審査委員長が、「また、さらに新しいテーマを発見してください」と激励。入賞した個人・団体に賞状と盾が手渡された。東筑紫学園高理科部は「北九州1/5万等光度曲線地図の完成」で最優秀賞を獲得。部長の2年本田百花さん(16)は「言葉に表せないぐ

↑ 本田先輩のインタビュー